



兵庫県

加東市滝野文化会館 大ホール

KATO CITY TAKINO CULTURE HALL
設計(リニューアル工事):(株)内藤設計

竣工:1983年 改修:2010年



イス幅を大きく広げ、前後間隔も拡張。ゆったりと快適な鑑賞空間に。

改修の背景・理由

市民の芸術鑑賞環境をより充実させるために、ゆったりとした座席で楽しめるようにリニューアルを計画。また防衛省からの補助金の対象にもなった。要望には「席幅を広くし、前後もできる限り多く取ってゆったりと」「ホールの中客席の更新」「ホールのバリアフリー化を促進」

があげられた。



ホールの旧イス

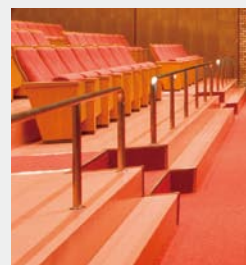
SOLUTION

⇒より幅広いイスにして、前後間隔を拡張。

- イス幅を480mmから550mmに大幅拡大。規格品をベースにした特注仕様。
- 1階席の前後間隔を900mmから980~1100mmに拡張。
- イスの張地を、華やかで品格ある雰囲気を出す張地色に変更。

⇒イス幅の拡大に伴い、席数を130席減らして、再レイアウト。

- 1階席の前後間隔を広げたことに伴い、段床も改修して奥行きを拡張。
- イス幅の拡大に伴い、既存躯体とイスの緩衝部を改修し、補助段も増設。
- レイアウト替えによるイスの取付け工事では、配線ピットの位置を現場で徹底調査。イス取付け位置に合わせて、ピットを再敷設したほか、ピット抵触部は鋼板を介して別位置でイスを固定。
- 床強度を補うためにケミカルアンカーを使用。
- 車椅子席を新設。



段床の奥行も改修



車イス席

大ホール / ATS-1341DR特注品 404席

